

か。国にしか担えないパブリックの領域は何か。リソースが限られる中で、あれかこれかの優先順位は誰がどう決めるか。

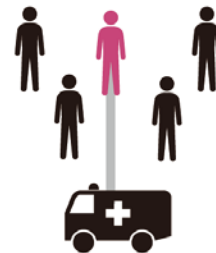
これからの時代、民間ができることは民間がやったほうがいいと思うが、パブリックでしかない領域も存在する。公教育の話は、NPOが事例をつくって、官がそれを広げるという役割。民間の力では限界あって、そこは区別して議論しないと、一緒くたにはできない。(②石戸)

国家が何もかも福祉を提供するのではなくて、社会でお互いにそういうことを負担し合うみたいな形にならざるを得ない。ヨーロッパでさえもはやそうになっているという中で、昔の福祉国家みたいなものは素朴には目指せないのではないか。(⑧古市)

資源を一部の人に集中する(助かる見込みのない人は見捨てざるをえない)状況について、事前の社会的合意をどう形成するか。事後検証を条件とすることで納得してもらえるかどうか。(④森田)



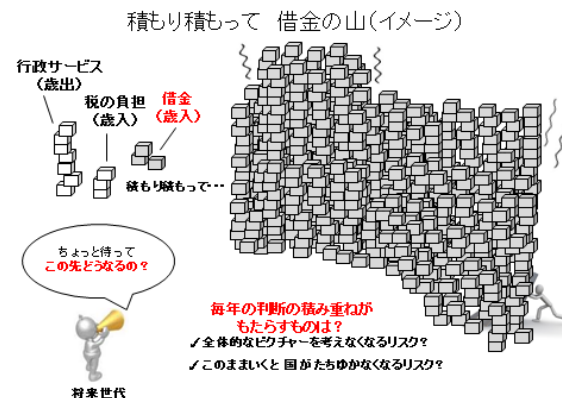
行政は限られたリソースを活かすために優先順位を判断しなければいけないが、事前の社会的合意を形成できるのか。



例えばトリアージ。災害医療の現場において、命が助かる人を医師が選別し優先的に措置する。では、行政においてこのような優先順位について、事前の社会的合意をどう形成するのだろうか。

行政は限られたリソースを活かすために優先順位を判断することができるか？

(出典:第4回懇談会 インフォグラフィクス)



「あれもこれも」から「あれかこれか」の選択はできるか？

(出典:第8回懇談会 事務局資料)